

# 赤外線カメラがとらえた動物

富岡東高校 一年 田中里奈

## 要旨

今年度初めて高校生学芸員で、赤外線カメラを用いた研究を実施した。研究ではまず、野生の動物の足跡や、目撃情報のある付近のお宅に許可をとり、畑の木に赤外線カメラを設置。その結果、赤外線カメラを設置した場所では、キツネやタヌキの出現が確認された。

## はじめに

高校生学芸員に応募する時に、自宅の庭にイノシシが出た時のことを思い出し、イノシシのような野生動物がどんな場所に出現し、どんなものを好んで食べているのか、ということの研究したいと思い哺乳類の研究に応募し、赤外線カメラを用いて動物の撮影することにした。

## 赤外線カメラによる野生動物の撮影方法・研究方法

調査対象地域は、群馬県甘楽町国峰とした（図1）。



図1 調査対象地域・国峰



図2 赤外線カメラ設置位置とカメラの向き

群馬県甘楽郡甘楽町国峰のイノシシの出現しているお宅に許可をとって畑の木に赤外線カメラ二台三地点に設置させて頂いた（図2）。

カメラを設置した期間は、以下のとおりである。

A	2013年12月24日～2014年01月09日	17日間設置
B	2013年12月02日～2013年12月15日	18日間設置
C	2013年12月02日～2014年01月09日	38日間設置

設置したカメラのデータパソコンでチェックし、どんな野生動物が映っていたか、写真の全ての枚数と野生動物が映っていたものだけの枚数がそれぞれ幾枚あったかを調べた。

## 結果

本研究の結果、各カメラに於いて下記のような結果が得られた。

A : 17 日間設置 17 日間稼働, 稼働率 100%

216 枚撮影 動物が映っていたもの 2 枚

映っていた動物 (タヌキ)

表 1 カメラ A 撮影された動物

日付	時刻	映っていたもの
2013.12. 24	18:46:57	たぬき
2013.12. 27	19:05:43	たぬき



写真 1 2013.12. 24 タヌキ



写真 2 2013.12. 27 タヌキ

B : 18 日間設置 13 日間稼働, 稼働率 72%

1184 枚撮影 動物が映っていたもの 0 枚

草ばかりが撮れて動物の写真は、撮れなかった。

C : 38 日間設置 38 日間稼働, 稼働率 100%  
 800 枚撮影 動物が映っていたもの 13 枚  
 映っていた動物 (タヌキ、キツネ)

表2 カメラ C 撮影された動物

日付	時刻	映っていたもの
2013.12. 05	18:36:46	たぬき
2013.12. 13	20:41:51	不明
2013.12. 14	23:15:34	たぬき
2013.12. 15	20:49:36	不明
2013.12. 15	22:39:47	きつね?
2013.12. 23	21:12:43	たぬき?
2013.12. 24	18:48:49	たぬき
2013.12. 26	19:48:12	たぬき
2013.12. 27	19:07:43	たぬき
2013.12. 27	19:32:29	たぬき
2013.12. 28	03:12:51	たぬき
2014.01. 04	04:49:45	きつね
2014.01. 07	06:06:15	きつね



写真3 2013.12.24 タヌキ



写真4 2014. 01.07 キツネ

### 考察

写真に写っていた動物は、夜に来るものが多く、昼間には、姿を見せなかった。

カメラを、設置させて頂いたお宅の方に2014年01月25日にイノシシがでたと連絡があったのに加え、カメラを設置する前からイノシシの足跡があったのでその場所にイノシシがでることは、確かだったが赤外線カメラでは撮影できなかった。

このことからカメラが草や木をできるだけ撮影しないような向きにカメラを設置し、動物のみが撮影できるような向きに設置することでより多くの野生動物を撮影することが期待できる。

また、今回設置した時よりも、食べ物が畑にある時期にカメラを設置することでもより多くの野生動物の撮影に期待できる。

### 謝辞

今回私の研究にあたって、赤外線カメラを設置させて頂いたお宅のかたをはじめ多くのかたに協力いただいた。ここに記して、厚く御礼申し上げます。